

網戸の張替えに挑戦！

春日町リサイクルセンター

春や秋の涼しい季節はエアコンを使用せず、窓を開け網戸から入る自然の風を感じてみてはいかがでしょうか？

窓を数カ所開けることにより家全体の換気をすることもできます。
また、窓を開けることにより鳥や虫の鳴き声が聞こえてきます。

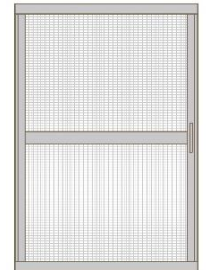
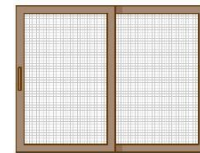


網の交換時期

網戸の傷み具合を確認し、切れて破れていたり歪んでいる場合は張り替えたほうが良いでしょう。経年劣化した網は弾力がなくなり、触るとボロボロになってしまいます。また、網を押えているゴムも劣化していますので、網を押えつける力が弱くなり網を押したときに外れてしまう場合があります。

網戸の大きさ

窓の大きさも様々ですが、一般的な大きさは幅が90cmまたは145cmとなります。ホームセンターなどで販売している1本のロールは上下一枚の網戸を張ることが出来ますが、最近のネット販売では、網の長さを指定して購入することもできます。

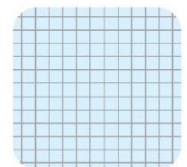
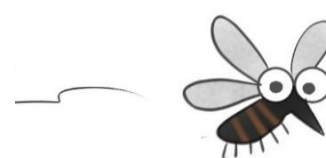


網目の大きさ

メッシュとは、網戸の網目の細かさを表した単位になります。これは1インチ（25.4mm）の範囲に網のマス目が何個あるかを表しています。

網目の一番細かいサイズから、40メッシュ、30メッシュ、24メッシュ、20メッシュ、18メッシュとなっています。

夏に飛んでいる蚊を通したくない場合は18メッシュでも問題ありませんが1mm程度の虫を通したくないのであれば40メッシュ（0.64mm）を選ぶ必要があります。しかし、細かい目になるほど通気性が悪くなりホコリ等が付きやすくなります。風通しを考えるならば24～18メッシュが良いのではないのでしょうか。



押えゴムの太さ

押えゴムの市販品は、3.5mm、4.5mm、5.5mmが主流となっていますので、購入する前に網戸から外してゴムを測って確認をしてください。劣化がひどい場合は細くなっている場合があります。30メッシュ以上になると網の繊維が細くなるのでゴムを太くする必要があります。

グラスファイバーなどの強い素材は、網を押されると抜けやすいため、ゴムを強引に押し入れるぐらいのサイズにして下さい。

初めて網戸の張替えをやる場合は、新しい網目と外枠が平行になるよりも網にたるみが少なくなるよう心掛けて張り替えてください。数枚張り替えるとコツがわかり綺麗に張ることが出来るようになります。

○網戸の張替えに必要な道具



新品の網、押えゴム、ワンタッチローラー、はさみ、カッター、+ドライバー、洗濯ばさみやクリップ、定規、ブラシなど
※道具は、ホームセンターで全て購入できます。

○網戸を窓枠から外す



窓枠レールから戸車が外れないように調整されていたり、網戸の室内上部に外れ防止がついている場合がありますので、外れない場合は確認をしてください。戸車の高さは、写真のようにドライバーでネジを回すことにより高さを調整できます。網戸を上を持ち上げレールから外してください。

○古い網と押えゴムを外す



網戸の押えゴムが切れているところからゴムをはずし、古い網を取り除きます。取り除いたら、溝、車輪などに付いている汚れをブラシなどを使い取り除きます。押えゴムは、網戸によってサイズが違うので購入前にサイズを測るか一部を切り取り販売店でサイズを確認してください。

○新しい網を枠に合わせ短辺から固定



枠と網目が平行になるよう置きクリップや洗濯バサミなどで押えます。

網戸の短辺から押えゴムを入れますが、短辺の溝より押えゴムを5cmぐらい出しておきます。

出したゴムは、長辺に入れます。

※右利きの人は時計回り、左利きの人は反時計回りにゴムを入れていくと作業が楽になります。

○網を軽く引きながら固定



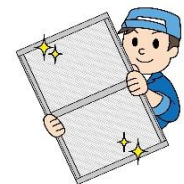
最初の2辺は、網戸と網が平行になるよう溝にゴムを押し込んでいきます。

2辺のゴム入れが終わったら網を固定していたクリップを外します。

角の部分にゴムを入れるときは、溝の奥までしっかりと押えゴムを入れてください。

残りの2辺は、枠の内側がたるまない程度に網を外にかるく引きながら、押えた手の分だけローラーで押し込んでいきます。

押えゴムを入れていくと、だんだん網が張ってきますので、網を強く引きながら押えゴムを入れてしまうと反対側のゴムが抜けてしまい網が外れてしまいます。



○余分な網を切り元に戻して完成！



ゴムが入れ終わったら、余分な網を切りますが網切専用カッターの使用をお勧めします。

文具カッターで切るときには、貼った網を切らない様に注意してください。

あとは、網戸を外した逆の手順で元に戻して終了です。